令和2年 11 月 1 日

ご利用者さま、ご家族さま

訪問看護ステーション　ピンポンハート
管理者　木浪　江衣子

新型コロナウイルス感染症への対策のお知らせとお願い

日頃から、当訪問看護ステーションのサービスをご利用いただき、まことにありがとうございます。皆さまにおかれましては、最近また新型コロナウイルス感染症数が増えてきており、ご心配されていることと思います。さらに 10 月下旬からは感染者数の増加に伴い、警戒レベルの引き上げもされており予断を許さない状況となっております。そこで、皆さまに当訪問看護ステーションの考え方と対応、サービスを継続するための職員体制についてお知らせいたします。

また、訪問看護サービスの実施にあたり、皆さまにお願いしたいこともお伝えします。皆さまには何卒ご了承の上、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

1. 訪問看護ステーションピンポンハートの方針

当ステーションでは、現在の状況下にあってもできる限り通常どおりの訪問看護サービスを提供したいと考えています。しかしその際、ご利用者さまやご家族さま、訪問看護を行うスタッフが新型コロナウイルス感染症にかかる可能性を想定し次の対応を徹底いたします。

1）スタッフ全員、毎日検温を行います。37.5℃以上の発熱やのどの痛み、咳、だるさといった症状が少しでもある場合は、新型コロナウイルス感染症の診断がつかなくても自宅待機とします。

2）研修会を含め多くの人が集まる会には参加しません。必要時は感染予防対策を徹底いたします。

3）今後更に感染拡大や学校等の休校等により、出勤困難なスタッフが増えた場合、状態が安定されているご利用者さまには、訪問回数を減らす等のご相談をさせていただきます。また、担当以外のスタッフが代行訪問する場合もあります。

4）訪問時、スタッフは手洗いとマスク、ゴーグル、シューズカバー、ガウンの着用を実施します。

2. ご利用者さま･ご家族さまへのお願い

1）毎日検温をしていただき、発熱等の症状がある場合、スタッフの訪問前にご連絡をお願いいたします。

2）ご利用者さまが新型コロナウイルス感染症を疑われた場合は、主治医と相談し対応させていただきます。他のご利用者さまへのウイルス感染を予防するため、病状によっては訪問看護を中止させていただくか、訪問時間を当日の最終時間に変更させていただくことがあります。

3）ご家族さまに発熱等の症状がある場合は、スタッフが訪問し、ご利用者さまの看護やリハビリ等を実施している間は、別室にて待機くださいますようお願いいたします。

4）厚生労働省作成の別紙「感染症対策へのご協力をお願いします」等を参考にしていただき、ご利用者さま･ご家族さまも手洗いや咳エチケットを行い、マスクを着用していただくことをお願いします。

〔別紙〕

感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、
「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に
- 爪は短く切っておきましょう
- 時計や指輪は外しておきましょう

1. 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
2. 手の甲をのばすようにこすります。
3. 指先・爪の間を念入りにこすります。
4. 指の間を洗います。
5. 親指と手のひらをねじり洗いします。
6. 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

- ✕ 何もせずに咳やくしゃみをする
- ✕ 咳やくしゃみを手でおさえる
- ○ マスクを着用する（口・鼻を覆う）
- ○ ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- ○ 袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用

1. 鼻と口の両方を確実に覆う
2. ゴムひもを耳にかける
3. 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省

厚労省 検索